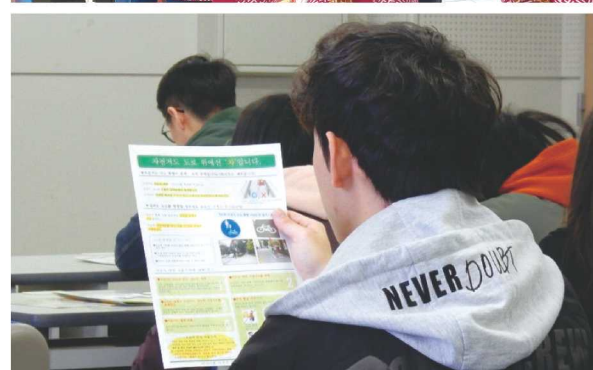


# SENDAI Lifestyle



インタビュー 「学都仙台」で暮らす  
留学生による座談会

多文化SENDAI ちきゅう部

外国につながる子どもたち 仙台市立木町通小学校 (その1)

コラム 仙台ではたらく / 子育て in せんだい / 留学生サポートの現場から

C I R 通信 生活オリエンテーション

**SenTIA**

Sendai Tourism, Convention and  
International Association

(公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) 国際化事業部は、言葉や習慣の異なる外国人住民や外国にルーツを持つ人たちと暮らす「多文化共生」のまちづくりのため、さまざまな事業を行っています。

WEBサイト



X(旧Twitter)



Facebook







特集

# 仙台の留学生

仙台には大学などの教育機関が多くあるため、多くの外国人留学生が暮らしています。留学生の皆さんはどんなことを勉強し、どんな生活をしているのでしょうか。今号では仙台で暮らす留学生について紹介します。

## 在留外国人の増加

2022年12月末現在の日本に住む外国人は307万5千213人（法務省）。これは過去最高を更新し、初めて300万人に達しました（図1）。仙台はどうでしょうか。2023年4月末現在の仙台市に住む外国人は1万4千540人（総人口の14%）。これも過去最高を記録しました。2021年と2022年に減少しているのは新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限があったためです。在留資格（※1）別にみると仙台は留学が一番多く5千43人（34.7%）。約20年前の4倍ほどの人数になりました（図2）。国籍別では中国、ネパール、スリランカ、バン格拉デシュの方が多いです（図3）。

※1 在留資格：日本で活動・住むための資格、29種類  
※2 第6回教育未来創造会議より

## 仙台に住む留学生の特徴

では、仙台に住む留学生は

どんな人たちなのでしょう。

留学生は大学、専門学校、日本語学校などで毎日勉強しています。学校のプログラムによっては英語で授業が行われるものもありますが、基本的に授業は日本語で行われます。留学生の中には日本語学校で1〜2年程度日本語を学び、その後、専門学校や大学で専門的な内容を日本語で学んでいます。大学院を卒業してから日本語学校に入学したという留学生は、将来日本での就職を考えたときに日本語の習得の必要性を感じ、改めて日本語学校に入学したそうです。留学生といっても日本語レベルはさまざまです。

## 他地域からくる留学生

また留学生は、来日して初めて暮らすのが仙台という人もいれば、日本の他地域から転居して仙台の学校に入学する人もいます。日本に来たばかりの留学生は日本での生活習慣やマナーに慣れていないことが多いですが、国内の他地域で勉強してきた留学生も仙台のルールやマナーを知っているとは限りません。例えば、ごみの分別ルールは自治体によっても異なります。また留学生の中には、東日



図1 全国における外国人数の推移 (各年末現在)

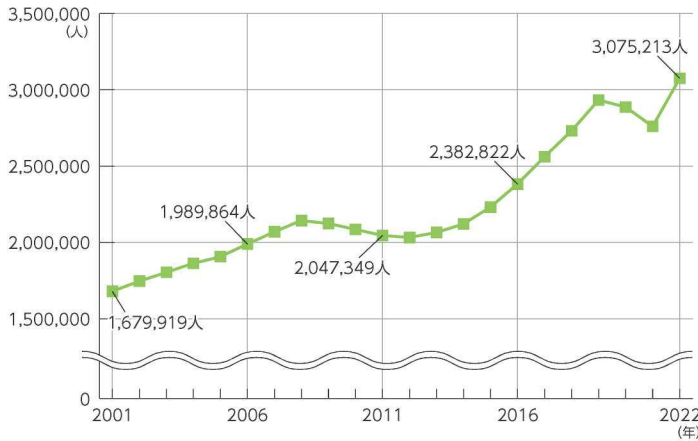
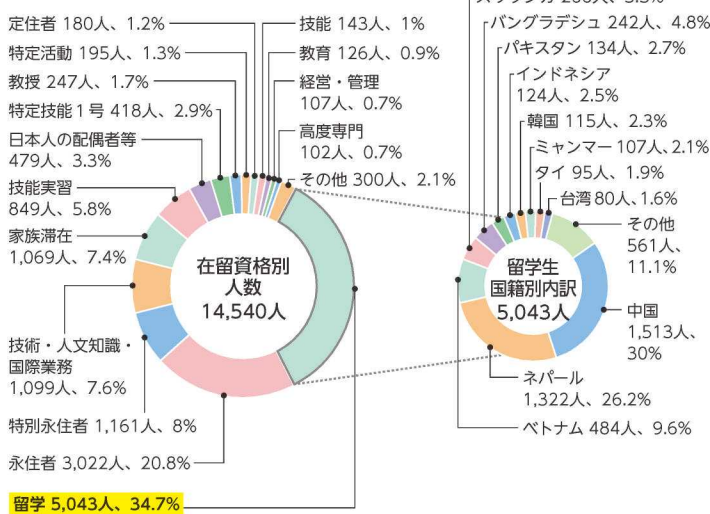


図2 仙台市における外国人数と留学生の人数の推移 (各年4月30日現在)



図3 仙台市における外国人住民の在留資格別人数と割合 (2023年4月30日)



留学 5,043人、34.7%

### SenTIA せんだい多文化まちづくりチャンネル

「多文化」をキーワードに私たちのまち仙台を動画で紹介するYouTubeチャンネルです。多文化共生、国際交流・協力分野で活動をする人や団体を動画で紹介しています。せんだい留学生交流委員会が作成した留学生からみた学都仙台についての動画もあります。ぜひご覧ください！

<https://tabunka.sentia-sendai.jp/>



本大震災のことも知らず、地震などの災害に対する備えも行ってないケースが少なくありません。そこでSenTIAでは学校に向いて無料で生活オリエンテーションを実施しています。仙台のごみの分別ルールや自転車マナー、防災や災害などについて説明しています。

### 日本語学校の留学生学校と生活

日本語学校の留学生は卒業までに日本語能力試験N3、N2、N1程度を目標に日々勉強

しています。卒業後は、専門学校に進学するほか、大学に進学する人もいて、その後将来、日本での就職を希望しています。留学生は平日、クラスごとに午前か午後の授業を受けます。ある留学生は、さまざまな夢を持って来日した言語・文化の違うクラスメイトと一つのクラスで勉強することはとても楽しいと話していました。また、授業以外の時間に多くの留学生はアルバイトをしています。スムーズなお店で週3日アルバイトをしている留学生は、アルバイトを通して地域に住む日本

人と交流できて嬉しいと話していました。生活面ではどうでしょうか。ある日本語学校では、学校にお世話役の外国人スタッフが常駐していて、仙台の電車の乗り方や寮の質問など、留学生が直面する問題に答えているそうです。仙台に来たばかりの留学生にとって、身近にすぐ相談できる存在はとても大きいと思います。また普段の生活の中で、近隣住民と騒音などのトラブルになってしまつこともありますが、地域住民から苦情が入ると該当留学生にも事情を

直接聞いた上で指導を行っている学校もあります。一度苦情のあったお宅に先生と留学生がお詫びに行き、母国の料理をお渡ししたところ大変喜んでくれ、その後はコミュニケーションが生まれてトラブルもなくなったそうです。「留学生は夢を持って来日してくるため、そのまま夢に向かって進んでほしい。また、地域の皆さんにもぜひ応援してほしい」と話す先生もいました。

日本の習慣や文化を積極的に学んで、日本に馴染もうと努力しています。私たち日本人側も、そんな留学生の思いや、多様な文化・習慣を知り、理解を深めていくことで、「多文化共生の学都」を目指したいものです。



「学都仙台」で暮らす

## 留学生による座談会

今回はSenTIAセんだい留学生交流委員(※)の3人に、仙台での生活、将来の夢について話を聞きました。

―仙台を選んだきっかけを教えてください。

**康** 新潟大学で素粒子理論を学ぶうちに、加速器を使ってハドロンや原子核などの反応を直接見てみたいと思い、東北大学の大学院に進学することになりました。仙台は住みやすく、大学のサポートも充実しています。**ロナルド** 東北大学を選んだ理由は高レベルな授業を受けることができ、研究も盛んにおこなわれていることをSNSで知り、また「THE日本大学ランキング」の総合ランキングで東北大学が1位ということもあり、進学することを決めました。



康 澤文さん

中国河北省出身。来日7年目。京都で1年間日本語を勉強したあと、新潟大学で物理学を専攻。現在は東北大学理学研究科物理学専攻2年目。お気に入りの場所は松島。二郎系ラーメンが好きで、毎週1回は必ず食べに行く。



ロナルドさん

インドネシア ジャカルタ生まれボゴール育ち。来日4年目。高校卒業後、大阪大学で1年間日本語を勉強後、現在は東北大学化学バイオ工学科で学ぶ3年生。お気に入りの場所は仙台駅周辺。好きな食べ物はずんだシェイク。



ヨアン ホアン ラン フォンさん  
ベトナム カントー出身。来日6年目。ベトナムの高校を卒業後、2015年に兵庫県で技能実習生として来日。その後、2019年に仙台の日本語学校に入学。現在は宮城学院女子大学の現代ビジネス学科で学ぶ3年生。よく行く場所は教会。仙台の喫茶店やカフェ巡りが好き。好きな食べ物は味噌ラーメン。

## ※SenTIAセんだい留学生交流委員

SenTIAでは、地域の国際交流や外国人の支援に積極的に取り組む外国人留学生を「セんだい留学生交流委員」として委嘱し、通訳・翻訳やラジオ放送など様々な事業で協働しています。毎年募集をしています。くわしくは、お問合せください。

日本語学校の広告を見て、仙台に行こうと決めました。日本語学校卒業後は、日本語を勉強するだけでは物足りないと感じ、大学でビジネスについて勉強しようと思いました。

―仙台での学校生活はどうか。

**康** 私が所属している研究室は一言でいうと自由です。ルールはあまりないので、オンラインでもできるのが、就活中は助かりました。また、仙台に来たばかりのころは、大学の寮に住んでいました。日本人と留学生が共同生活を送るので、初めはみんなで相談しているなルールを決めました。住んでいる人の出身国・地域の料理を互いに振舞って交流していました。**ロナルド** 学部の友だちとは宿題を一緒にしたり、週末にご飯を食べて親睦を深めています。その他に、大学の写真部に入っ

て、今年で6年になります。**ロナルド** 特にありませんが、役所の職員には簡単な言葉を使った「やさしい日本語」で話してほしいです。分かりやすく、日本語で話しかけてもらえると理解しやすくなります。やさしい日本語をぜひ知ってもらいたい

です。**フオン** 大変だったことは役所での手続きです。兵庫県で働いていたときは会社がカバーしてくれましたが、仙台では自分

の手続きをして、日本語が分からないと大変だなと思いました。私は困ったときは、大学の先生に聞いて助けてもらいました。今後も外国人がたくさん仙台に

来ると思うので、日本語が分からない人向けに書類などを多言語にしてほしいと思いました。

―将来の夢を教えてください。**康** 昨年就職活動をして、東京の会社に内定をもらいました。来年4月から資産運用に関する仕事を予定しています。将来はファンドマネージャーとして投資のアドバイスをしています。今まで勉強してきた数学・物理・統計学・プログラミングなどの知識を使い、金融と組み合わせ

て、今年で6年になります。**ロナルド** 特にありませんが、役所の職員には簡単な言葉を使った「やさしい日本語」で話してほしいです。分かりやすく、日本語で話しかけてもらえると理解しやすくなります。やさしい日本語をぜひ知ってもらいたい

です。**フオン** 大変だったことは役所での手続きです。兵庫県で働いていたときは会社がカバーしてくれましたが、仙台では自分

の手続きをして、日本語が分からないと大変だなと思いました。私は困ったときは、大学の先生に聞いて助けてもらいました。今後も外国人がたくさん仙台に

来ると思うので、日本語が分からない人向けに書類などを多言語にしてほしいと思いました。

―将来の夢を教えてください。**康** 昨年就職活動をして、東京の会社に内定をもらいました。来年4月から資産運用に関する仕事を予定しています。将来はファンドマネージャーとして投資のアドバイスをしています。今まで勉強してきた数学・物理・統計学・プログラミングなどの知識を使い、金融と組み合わせ

けるのではないかと思っています。投資の力で持続可能な社会を実現できたらいいなと思っています。**ロナルド** 学部を卒業したあとは大学院に進学し、海外の企業で働きたいと思っています。再生可能エネルギーを開発して社会に貢献したいです。今後とも必要性が高くなっていくと思うので、研究を深めて、どう社会に普及させていくかを考えていきたいです。

**フオン** 将来は仙台で自分のお店を開くことが夢です。大学卒業後は、まずは仙台の会社に就職したいと思っています。できればベトナムと日本に関わりのある会社で働きたいです。たまたま選んだ仙台でしたが、私にとって過ごしやすく、街もコンパクトで便利です。外国人を支援する団体や企業も多く、外国人にとっても助かると思います。このまま仙台で生活したいです。





仙台で活動する外国人コミュニティや  
多文化共生・国際交流団体を紹介します

## ちきゅう部



代表の出水さんがアフリカで現地の方と交流している様子

ちきゅう部代表の出水彩子さんに、活動を始めたきっかけや今後の目標などについて伺いました。

「日本人が世界中の人と出会える機会をもっと増やしたい」という思いから2021年9月にちきゅう部を設立しました。

具体的な活動は、今年の5月に「アフリカの杜2023」というイベントを仙台市で開催したり、途上国での産業振興プロジェクトを受託したりしています。

「アフリカの杜2023」では、宮城県のアフリカ人コミュニティや、アフリカのために活動する団体に参加していただき、アフリカ雑貨や食品の販売、アフリカにちなんだワークショップ、アフリカの音楽やダンスの紹介を行いました。来場した子どもたちにアフリカを楽しんでもらえたこと、宮城県でアフリカ関係者同士のつながりを作れたことが何よりも嬉しかったです。

日本の地方ではアフリカのことを知

## ちきゅう部

大学院時代にアフリカの勉強会をしていた仲間と活動をスタート。「地球規模で自由に考えるちきゅう人を増やす」をミッション、「世界中の人が共に喜び合える社会」をビジョンに事業や様々な交流イベントを今後も開催する予定。  
〒984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路6-1 東日本不動産  
仙台ファーストビル1階  
お問い合わせは、  
info@chikyubu.comまで。

る機会が少なく、アフリカに対する心理的距離が遠いと感じています。アフリカには、貧困や紛争などの社会問題が数多く残っている負の側面もありますが、アフリカの人たちと交流を重ねると、家族やコミュニティを大切にする心や、不便な中でも楽しく暮らす知恵など、私たちが日々忘れがちな大切なものを思い起こさせてくれます。

これからも、現地での事業や交流イベントを通じて、アフリカの魅力を広げていけたら嬉しいです。

## 外国につながる子どもたち



多様な子どもたちが学ぶ学校の様子を現場の先生に伝えてもらいます

## 仙台市立木町通小学校 (その1)

はやし りょうこ  
林 涼子 教諭

仙台市立小学校教諭8年目。外国語専科として2校兼務しながら今年度から日本語支援の担当に。好きなことは写真を撮ること。



仙台市立木町通小学校には、今年度インドから転校してきた4年生のAくんが在籍しています。保護者も日本語が話せないため、外国語専科の教員を中心に児童支援担当、教育委員会の外国人児童指導協力者と担任が連携して支援に当たっています。

Aくんに対しては、授業中隣に付いての学習支援と、放課後マンツーマンでの学習支援を行っています。保護者とは英文メールで連絡を取り合い、安心して学校生活を送ることができるようサポートしています。

## 外国につながりをもつ子どもの応援ネットワーク「おむすび」座談会

宮城教育大学、外国人の子ども・サポートの会、宮城県国際化協会、SenTIAが連携し毎月1回開催しています。「おむすび」は現場の先生、指導の補助を行う指導協力者、学校内外の支援者同士のネットワークです。子どもたちと接する中で抱える問題や疑問と一緒に考えます。開催日はSenTIAのブログやメールマガジンでお知らせします。



達成感を味わえるように学習カードにスタンプを押しています。カードを使って日付や勉強した回数も確認します。

放課後学習では、文字・言葉・会話に関する学習と教科の学習の四つの内容を少しずつ取り入れ、楽しく学習できるように計画しています。Aくんは学習していくうちに、普段聞いていた教員の口癖を真似して言えるようになったと喜んでる様子が見られるようになりました。日頃の授業で日本語のシャワーを浴びているだけでも力は付いていくものなのだと言った児童の吸収力の高さに驚かされました。

今後小さな「できた」を積み重ねながら学校全体で温かく支援していきたいと思います。



## 仙台ではたらく



**ピッティ・ダヴィデさん**/イタリア・ローマ出身。現在は東北大学国際企画課に国際交流オフィサーとして勤務。元SenTIAせんたい留学生交流委員。YouTuberとしても活動中。チャンネル名「Vivi Giappone」。

子どもの頃ゲームやアニメから日本に興味を持ち、ローマ大学で日本の文化・文学を学ぶうちに日本へ行きたいと思うようになりました。2010年から交換留学で東北大学に来て、住み心地の良い仙台が大好きになりました。再び2015年に国費留学で仙台に戻り「仙台で住み続けたい」と仙台にこだわって就職活動をしました。

今の仕事は何年も前から就きたかった仕事です。一旦別の仕事をしていましたが「東北大学と海外の架け橋になりたい」という自分の目標のため再び応募し採用されました。私が所属する部署では海外の大学との連携を推進する仕事などを行っています。その他に同窓生イベントの企画、G7仙台科学技術大臣会合でのナノテラス案内など自分の能力と経験を活かせる仕事が多く、理想的な職場です。

仙台で仕事を見つけたのは東京より難しいかもしれませんが、経験を重ねて自分の能力を向上させることと、外国人のコミュニケーションに閉じこもらず積極的に仙台の人と交流してつながりを作り、積極的にアピールすることが大事だと思います。

今後は、東北大学とローマ大学の絆やイタリアとの関係を強くするような仕事がしたいです。



「同窓生と留学生のオフ会仙台ツアー」で参加者と。仙台市内と東北大学のキャンパスをみんなでめぐりました。

## 子育てせんたい



**アンドレス フローレス ホセさん**/チリ出身。2013年に単身留学、2017年に家族で来仙。奥さんと息子2人の4人家族。IT関連会社に勤務。

チリにはカースト制度があり、差別を受けることがあります。子どもの将来も考え、2017年に家族で日本に来ました。仙台に来た当時、長男は11歳、次男は2歳でした。長男は学年を1つ下げて小学5年生に入りました。

妻と子どもたちはまったく日本語がわからなかった。翻訳アプリなどを使いながら一緒に日本語の勉強をしました。長男の宿題も家族みんなで取り組みました。ただ、翻訳アプリを使いすぎると自身の勉強にならないということも気づきました。

次男は小さい頃から日本で生活をしているので、頭の中は日本語です。しかし、日本語の意味がわからないときがあるらしく、学校の先生とも相談し一部の科目は別室で日本語指導を受けています。日常会話などは問題ないので、みんなと同じ教室で授業を受けながら、自然に日本語を覚えてほしいという思いもあります。

妻も日本語の勉強をとっても頑張っています。今では私のために通訳してくれるほど。次男の宿題も見てくれるようになりました。

頑張りさえすれば、自分で選んだ道を歩むことができる日本は、素晴らしい環境だと思います。日本に来て本当によかったと思っています。



仲よし家族。右から長男、妻、手前が次男。

## 留学生サポートの現場から



**白鳥 美幸(しらとり みゆき)**さん/名古屋出身。仙台ランゲージスクール事務局長。問い合わせ対応、学生指導等、幅広く手掛ける。サボテンのたと猫が好き。

早いもので、私が今の学校に勤めるようになって25年が経ちました。時折届く卒業生からの近況報告は、懐かしさと共に、その成長に喜びを感じます。最近は、母国に戻った卒業生がご主人やお子様を連れて遊びに来ることもあり、このような「里帰り」はまるで自分の家族を迎えるような気分させます。近い将来親子二代で当校に留学、ということもあるかもしれません。

ところで、普段は正規留学生への日本語教育を中心にしていますが、この夏は短期日本語コースで何名かを受け入れました。仙台を選んだ経緯や目的は様々で、ある学生は当校の卒業生の教え子で「先生」の母校という理由で来てくれました。台湾の10歳の少年は大の鉄道ファン。仙台滞在中は何度も新幹線で旅行をし、車内放送も真似できるまで上達したのは我々も驚きました。この夏に出会った学生達も、いつの日か当校に「里帰り」してくれるかな、と今から期待を膨らませていきます。



当校歴代最年少の学生と。鉄道博士です。



# CIR通信 Vol.5 生活オリエンテーション

仙台市国際交流員（CIR）がSenTIAで携わっている多文化共生事業について紹介します。

今回は  
テシアから  
紹介します！

## CIR テシア

カナダ・バンクーバー出身。  
来日2年目。  
猫とコーヒーが好き。



## CIR イーライ

アイルランド・コーク出身。  
来日1年目。  
小説と登山が好き。



※国際交流員（CIR: Coordinator for International Relations）  
JETプログラム（政府の外国青年招致事業）で来日し、自治体の国際交流担当部局等で国際交流や多文化共生事業に携わっています。  
仙台市には現在、2名のCIRがいます。

みなさん、こんにちは。CIRのテシアです。元気にお過ごしでしょうか。

今回はSenTIAが行っている「生活オリエンテーション」について紹介したいと思います。

生活オリエンテーションでは、仙台に住んでいる外国人住民を対象に日本のルールや生活マナー、暮らしに役に立つ情報を提供しています。大学や日本語学校等への出前講座も行っています。

受講者は、日本に住んで間もない、または日本語を勉強中という方がほとんどで、日本で暮らすための大切な情報をきちんと把握していただけるよう、私たちCIRは英語通訳者として参加します。

講座の内容は、ご依頼いただいた学校や団体と相談して決めますが、正しいごみの出し方や日本の交通ルール、日常生活における注意事項などのトピックが一般的です。

また、防災に関する情報も提供しています。災害に備えることの必要性や準備すべきこと、そして災害が起きたときに取るべき行動などを説明し、受講者にも防災について考えてもらうようにしています。

その他、SenTIAが運営している仙台多文化共生センターや、通訳サポート電話、外国人のための専門相談会などの無料で

利用できるサービスも紹介しています。

私自身も、通訳者として講座に参加すると同時に、日本で生活する上での知識を身に付けることができました。特に防災知識は、災害の少ない国から来た私にとって大変有益な情報となりました。今後も参加者とともに学び続けたいと思っています。



生活オリエンテーションで英語話者のグループに通訳をしている様子

今回は新任のイーライさんです。お楽しみに！

## SenTIA サポーター（国際化事業部 賛助会員）募集中！

言葉や文化の違いをこえて、誰もが生き生きと暮らせる「多文化共生の地域づくり」に向けて、皆様からの支援をお待ちしています。事業にご賛同いただける方は、どなたでもお申し込みいただけます！

### 会員の種類/会費（年度ごと）

学 生	1口 500円	個 人	1口 1,000円
市民団体	1口 2,000円	法 人	1口 5,000円

申込方法等については、ウェブサイトをご覧ください。  
市民団体・法人会員のサポーターも紹介しています。

<https://int.senia-sendai.jp/j/activity/supporter.html>



### 2023年度 登録の法人会員のご紹介

- EZY 外国語
- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）東北支所
- ギャラリー ターンアラウンド

今回は市民団体の紹介をします。お楽しみに！

# 仙台多文化共生センター をご利用ください

TEL 022-224-1919



仙台多文化共生センターでは、仙台に暮らす外国人住民の相談に多言語で対応しています。地域や学校、公的機関等からの各種相談にも応じています。お気軽にご利用ください。



## 通訳サポート電話 TEL 022-224-1919

3者間通話ができる電話を使って外国人住民への生活情報の提供と、通訳によるコミュニケーションのお手伝いをします。区役所・市民センター・保育所・学校などで、外国人住民とのコミュニケーションでお困りの際にご利用ください。(商用利用はできません)

**対応言語** 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウクライナ語

## 外国語による相談対応

外国人住民の日常生活での困りごと、悩みごとに、外国語で対応します。スタッフが英語・中国語で対応します。その他の言語については「通訳サポート電話」で対応することがあります。中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語は、相談員がそれぞれ週に1~2回、仙台多文化共生センターで直接相談に応じます。

## 外国人のための専門相談会

在留資格、法律、仕事で困っていること、行政手続き、税金などについて、専門家に相談できます。事前申込が必要です。通訳も無料で申し込めます。詳しくはお問い合わせください。

**2023年10月以降の予定** 時間はすべて1:00 p.m.~4:00 p.m.

※開催日が変更になることがあるので、ウェブサイト(右側のQRコード)を確認してください



仙台出入国在留管理局	仙台弁護士会	宮城県行政書士会	宮城労働局	東北税理士会
毎月第4金曜	毎月第2金曜	毎月第1土曜	奇数月の第3木曜	次回予定はウェブサイトでご確認ください。

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 仙台国際センター 会議棟1階  
 毎日 9:00 a.m.~5:00 p.m.(年末年始と月に1~2日程度の休館日を除く)  
 TEL: 022-265-2471  
 FAX: 022-265-2472  
 Email: tabunka@sentia-sendai.jp

仙台多文化共生センターは、仙台市の委託を受け、  
 (公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) が運営しています。

